

インフラ管理道路DX



公式X(旧Twitter)



鹿嶋市アントラーズPR大使
「PRタイツマン」

令和7年1月29日（水）総合計画審議会
鹿嶋市政策企画部政策推進課

PRタイツマンは鹿嶋市と鹿島アントラーズを
全力で応援しています。

鹿嶋市の道路管理DXとは？

○市公用車・出光興産LPガス配送車に，Road Managerアプリ^(※)を搭載した端末カメラを設置。

端末カメラが道路損傷を自動検知し，庁内PCでダッシュボード閲覧可能とすることで，損傷検知数の増，簡易補修・維持管理業務のコスト削減を図る。

- ※RM…アーバンエックステクノロジーズ開発
- ○実証実験：令和4年11月から令和5年2月
- ○実装：令和5年6月～

【既存】

鹿嶋市 ↔ 外注・職員パトロール

【実証】

鹿嶋市 ↔ 出光興産 RMアプリ
公用車（5）
LPガス配送車（3）

※実装後はLPガス配送車3台・公用車2台



①道路の維持管理コストの増加

②道路管理職員の減少

⇒巡回パトロールで全て見切れていない，維持管理予算は頭打ちないし減額，市民要望&クレーム対応に時間がかかる，データの管理がE x c e l 手入力で非効率

⇒マンパワーで乗り切っているがリソースが限られていて余裕がない。
省力化・効率化で職員も市民も満足できる体制への転換が必要

SmartCityX (※) という，サンフランシスコを拠点とするV Cのコンソーシアムに参画したのがきっかけ。

鹿嶋市の課題と出光興産の新規事業案がマッチしたので，実証事業のためにフィールドを提供。アーバンエクステクノロジーズ開発のアプリを使用した道路管理DXの検討を開始。

※SmartCityXとは (SmartCityX HPより引用)

日本企業とグローバルスタートアップの新規事業創出を手掛けるスクラムスタジオが，国内の各産業を代表するパートナー企業とともに，「ニューノーマル時代のスマートシティ」をテーマに世界中のスタートアップと連携・事業共創を行う，グローバル・オープンイノベーション・プログラム。



1 **パトロールカバー率の向上** 20% (外注10・職員10) → 87.2% 【R5実績 93.1%】

2 **ポットホール発見数の増加** 148件→296件 (2倍) → 予防保全型メンテナンス

3 簡易補修対応の効率化

- ・住民通報・職員パトロール起因の補修の減 (25→14)
- ・RM検知→経過観察でよいもの・補修対応が必要なものの選別

4 簡易補修指示業務の効率化

【既存】 職員・外注ともにパトロール・簡易補修を実施

【実証実験】パトロール → RM (公用車・LPガス配送車)

簡易補修 → 職員・外注



ポットホール補修以外の対応にもリソース配分



5 職員の出勤回数・クレーム対応時間の減

【既存】 140min

・住民通報 → 移動 (30min×2人) → 現場確認 (10min×2人) → 移動 (30min×2人)

【実証実験】 5min (△135min)

・RMによるダッシュボード化

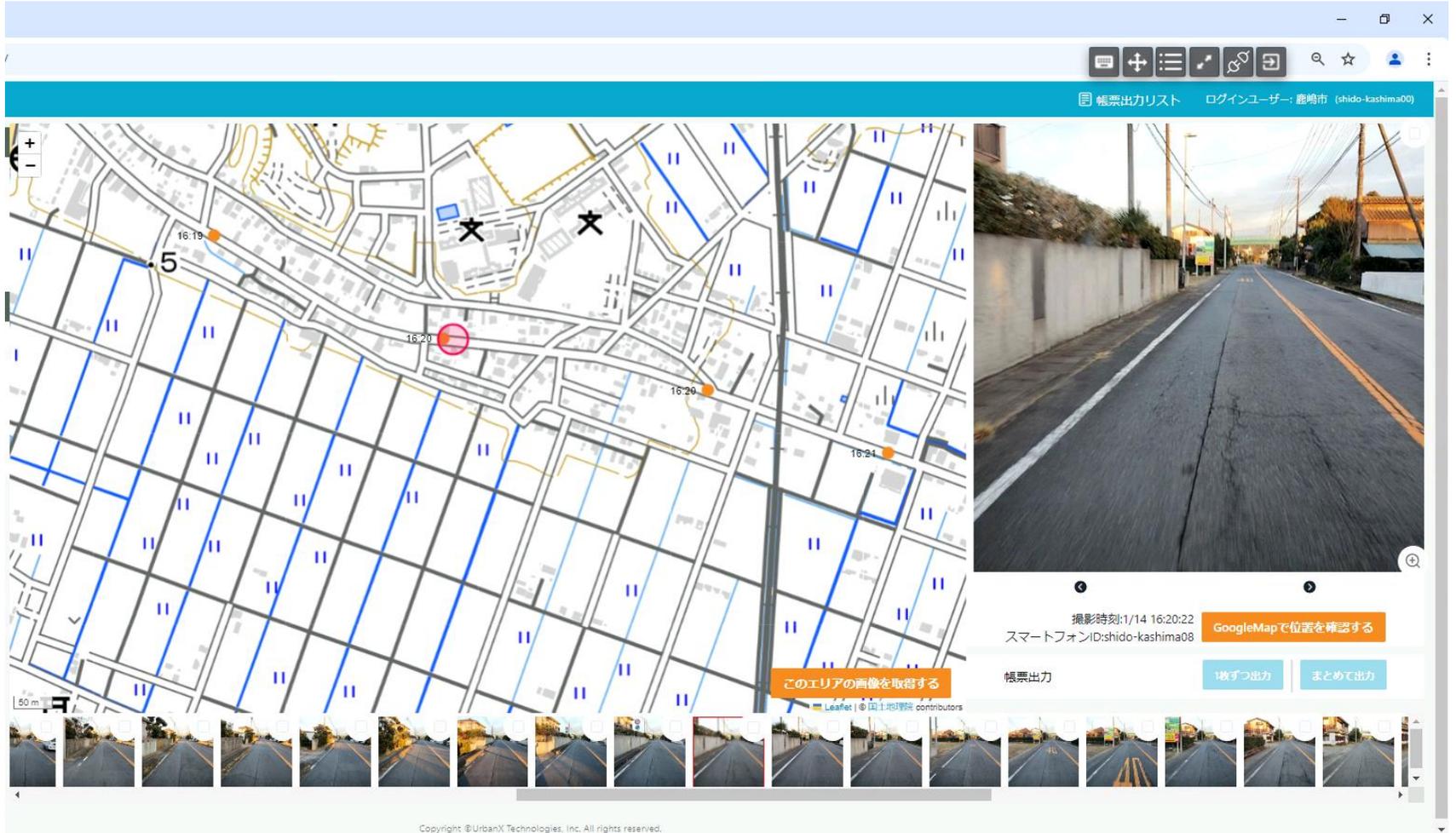
135分/件×40件 (実証実験期間内) 3か月間で90時間削減

→勤務時間内に集中して執務が可能・時間外業務を削減

→住民通報が他課案件であった場合に現地確認することなく情報共有が可能



ダッシュボード画面



帳票出力リスト ログインユーザー: 鹿嶋市 (shido-kashima00)

撮影時刻: 1/14 16:20:22
スマートフォンID: shido-kashima08

GoogleMapで位置を確認する

帳票出力 1枚ずつ出力 まとめて出力

このエリアの画像を取得する

Leaflet | © 国土地理院 contributors

Copyright © UrbanX Technologies, Inc. All rights reserved.

